

ブロックの旗にあつまれ！

第3回町民体育祭

とき 10月12日(日)

予備日 13日(月・祝)

ところ ふれあい坂田池公園
陸上競技場

地区対抗種目と自由参加種目を取り入れ幼児から高齢者まで楽しめるプログラムを用意。みなさんの参加をお待ちしています。

◆問い合わせ

社会文化課生涯学習班

☎84-1358



♪♪作品展示♪♪

【町民会館ミニギャラリー】

- 8月 華舟会
- 9月 新ペン習字クラブ
- 【文化会館ロビー】**
- 8月 俳句会
- 9月 つくしクラブやまぶき書星会
- 【サビア】**
- 8月 写友会
- 9月 華舟会

足もと元気教室

転倒・寝たきり予防の運動教室です。運動以外にも、理学療法士の個別指導や保健・栄養面に関する講義もあります。

とき

10月9日・21日・31日
11月7日・13日・25日
12月2日・16日

午後1時30分～3時30分

ところ 健康づくりセンター

「プラム」

初回は町民会館

対象 65歳以上の男女

(自立者)25名

※定員になり次第締め切り

◆問い合わせ

参加費 無料

社会文化課生涯学習班

☎84-1358

こうほう博物館 鬼来迎のお面

きらいごう
光地区虫生と言えば鬼来迎が有名であることは、町民の誰しもがご存知のことでしょう。この鬼来迎、毎年旧盆の八月十六日の最も暑い盛りに行われる、全国的に珍しい仮面劇です。この劇は地元の言い伝えによれば、鎌倉時代に始まったと言われます。それを物語るように、その発祥の地と考えられる鬼堂跡は、鎌倉時代に流行ったお寺の姿を残しています。この鬼堂と鬼来迎の主役である鬼面をめぐる伝承について、簡単に紹介しましょう。

その昔、石屋という修行僧が鬼堂に立ち寄り、夜露をしおいた時、ある娘が地獄に落ちて鬼の責め苦にあつていて夢を見ました。その翌朝、娘にお参りに来た当地領主夫婦に、僧は夢の話をしたところ、私が娘であると言いました。夫婦は地獄に落ちたその娘を不憚に思い、何とか極楽往生できるよう、僧に頼みました。僧は娘の戒名を変え、生前の罪を悔いる法要をするように進言しました。また、領民へも仏教に帰依し、信仰を高めることによって、極楽往生できることを分かりやすく示すため、この逸話を劇として始めたというのが鬼来迎です。現在残っている鬼来迎のお面は、古面といわれて最も古いのは赤・黒鬼と鬼婆の三面で、江戸時代かそれ以前に作られ、そのほか閻魔・俱生神などはそれに次ぐと思われます。これら合計十三面が県指定の有形民俗文化財になり、広濟寺の宝として大事に保管されています。そして今日使われているお面は、昭和五十年代初めに作られた三代目のお面です。



▼県指定有形民俗文化財の古面

vol.5